Model 2000015520
2000015521

2500 NORTHSTAR® LP GAS LANTERN
取扱説明書

TM

保証書付
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についています。

もくじ

警告……2
注意……3,4
各部の名称，パーツリスト……4
ランタンの組み立て，点火の準備……5
マントルの取付け
カラヤキ，点火・消火，収納・保管…6
日常の点検・お手入れの方法……7
故障・異常の見分け方と処理の方法
仕様……8

このたびは、2500ノーススター®LPガスランタンをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
お読みになった後も、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。
修理・補償を受ける際に必要になります。

製品を正しくお使いいただくため及び、ご自身や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

⊘ 一般的な禁止 ⚠ 一般的な注意 ❗ 必ず行う ⊘ 接触禁止 ⊘ 火気禁止

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

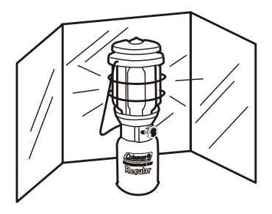
⚠警告 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱いについて

1.以下のような使い方は厳禁!ガスカートリッジ(容器)が過熱し爆発の原因となります。

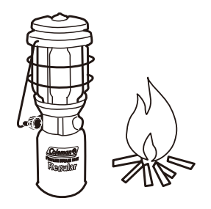
- 風防、鉄板や岩などで囲うような使用。

⊘ 禁止



- 他のコンロ・火気・焚火のそばでの使用。

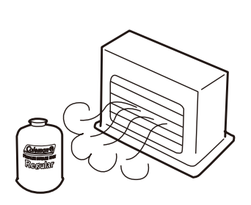
⊘ 禁止



- その他、ガスカートリッジ(容器)が過熱するような行為。

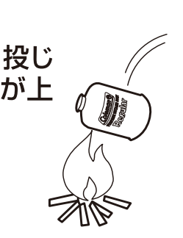
2.ガスカートリッジ(容器)は熱気のあたる場所に放置しないでください。

- ガスカートリッジ(容器)はファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



⊘ 禁止

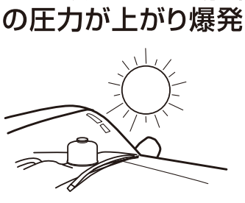
3.ガスカートリッジ(容器)を火中に投じないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



⊘ 禁止

4.ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(室内や車内の窓際など)の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

⊘ 禁止

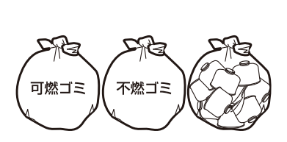


5.ガスカートリッジ(容器)は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。

❗ 必ず行う

6.使用済みガスカートリッジ(容器)の処理について
使用済みガスカートリッジ(容器)は、キャンプ場等に放置せずに必ず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

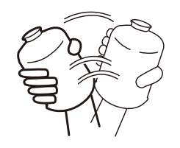
- ガスカートリッジ(容器)は完全に使い終わってから、他のごみと区分して捨ててください。



不燃ゴミの中でも別に!!

❗ 必ず行う

- ガスカートリッジ(容器)にガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。ガスカートリッジ(容器)を振ってサラサラと音のする場合には、ガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。

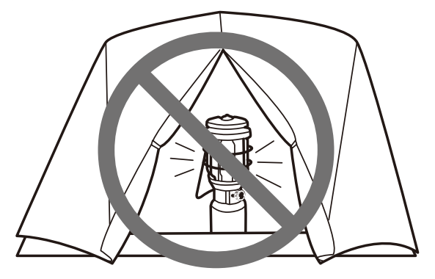


❗ 必ず行う

使用場所の注意

1.屋外専用です。使用中は多量の酸素を消費しますので、窒息や中毒を起こす恐れがあります。その為、家の中、テントの中、車の中もしくは換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。一酸化炭素(CO)中毒により、最悪の場合には、死亡事故につながる恐れがあります。

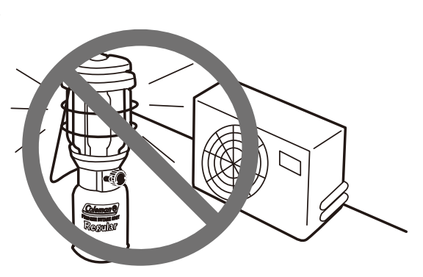
⊘ 禁止



2.使用中は多量の酸素を消費します。換気には十分注意してください。

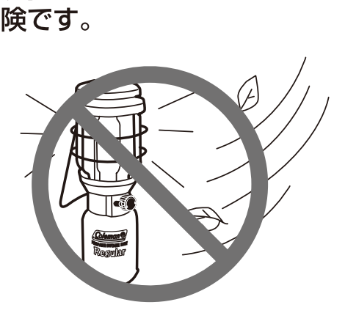
3.エアコンの室外機付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります。

⊘ 禁止



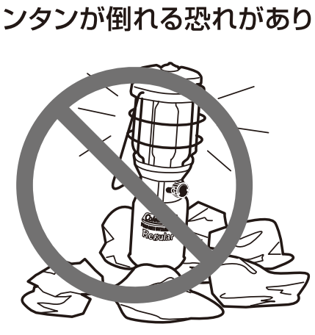
4.風の強い所での使用は避けてください。風で火が吹き消される事があり危険です。

⊘ 禁止



5.設置面が安定していて、水平な所に置いてご使用ください。斜めに置くとランタンが倒れる恐れがあります。

❗ 必ず行う



⚠注意 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱いについて

1.ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。

❗ 必ず行う

- 保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検してさびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

❗ 必ず行う

- ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。

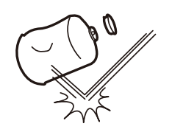
⊘ 禁止

2.ガスカートリッジ(容器)のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。

⊘ 禁止

3.ガスカートリッジ(容器)に、強い衝撃を与えないでください。変形するとランタンにセットできなかったりガス漏れの原因となります。

⊘ 禁止



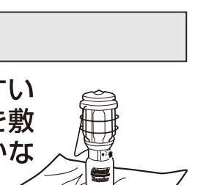
ガスカートリッジ(容器)はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。

コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ(容器)を一体にした状態で設計、品質管理を行っています。性能・安全を維持する為にも、コールマン純正LPガス専用ガスカートリッジ(容器)をご使用ください。

❗ 必ず行う

火災予防の注意

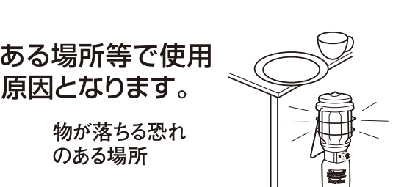
1.ランタンの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの(ビニールクロス)を敷いたり通気のさまたげになるものを置かないでください。火災の原因となります。



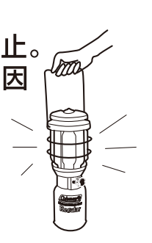
⊘ 禁止

2.上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

⊘ 禁止

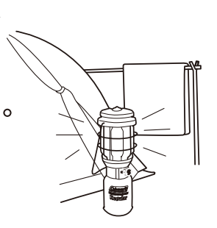

物が落ちる恐れのある場所

3.点灯したままの持ち運びは禁止。転倒するとやけどや火災の原因となります。



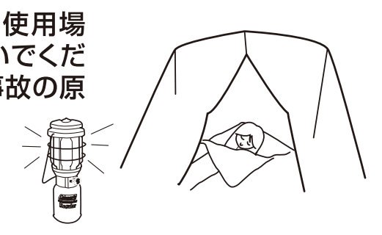
⊘ 禁止

4.燃えやすい物から上部1.2m、周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。



⊘ 禁止

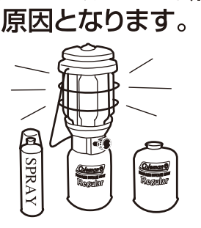
5.火をつけたまま器具の使用場所を離れたり就寝しないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。



⊘ 禁止

6.ランタンを使用中、近くに予備のガスカートリッジ(容器)やヘアスプレーなどを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。

⊘ 禁止



7.ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。

⊘ 禁止

ガス事故防止

1.ガスカートリッジ(容器)がセットされていて、着火していないのに器具栓ツマミが〈OFF〉以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。十分にご注意ください。

⚠ 注意

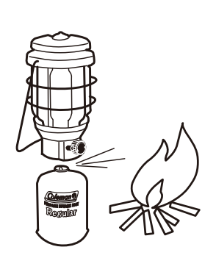
2.ガスカートリッジ(容器)は正しく装着してください。

- ガスカートリッジ(容器)を正しくセットしないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは5ページ「点火の準備」を確認ください。

❗ 必ず行う

- ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

⊘ 禁止



3.使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を十分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたり電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

- 使用をやめガスカートリッジ(容器)をはずしてください。

⊘ 火気禁止

4.使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。

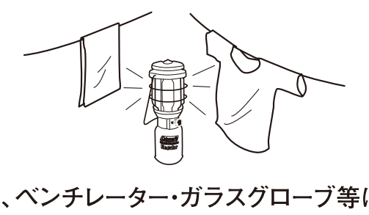
❗ 必ず行う

⚠注意 安全のために必ずお守りください。

使用上の注意

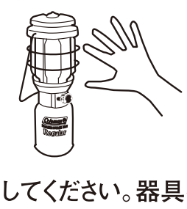
- ランタンを衣類の乾燥やストーブのかわりなど照明以外の用途に使用しないでください。衣類が落下するなど火災の原因となります。

⊘ 禁止



- 使用中や使用直後は、ベンチレーター・ガラスグローブ等は高温になっておりますので、手を触れないでください。火傷の原因となります。後片づけをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。

⊘ 接触禁止



- 使用の際は特にお子様に注意してください。器具を保管する場合も幼児・子ども等の手の届かない場所に保管してください。

⊘ 接触禁止

- 点火するときは顔や手をランタン付近に近づけないでください。

⊘ 接触禁止

- 万一異常音、ガス臭、赤火など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを右(OFF)の方向に回して消火し、ガスカートリッジ(容器)を本体から取りはずしてください。

❗ 必ず行う

- 「故障・異常の見分け方と処置の方法」7ページを参照し指示に従ってください。

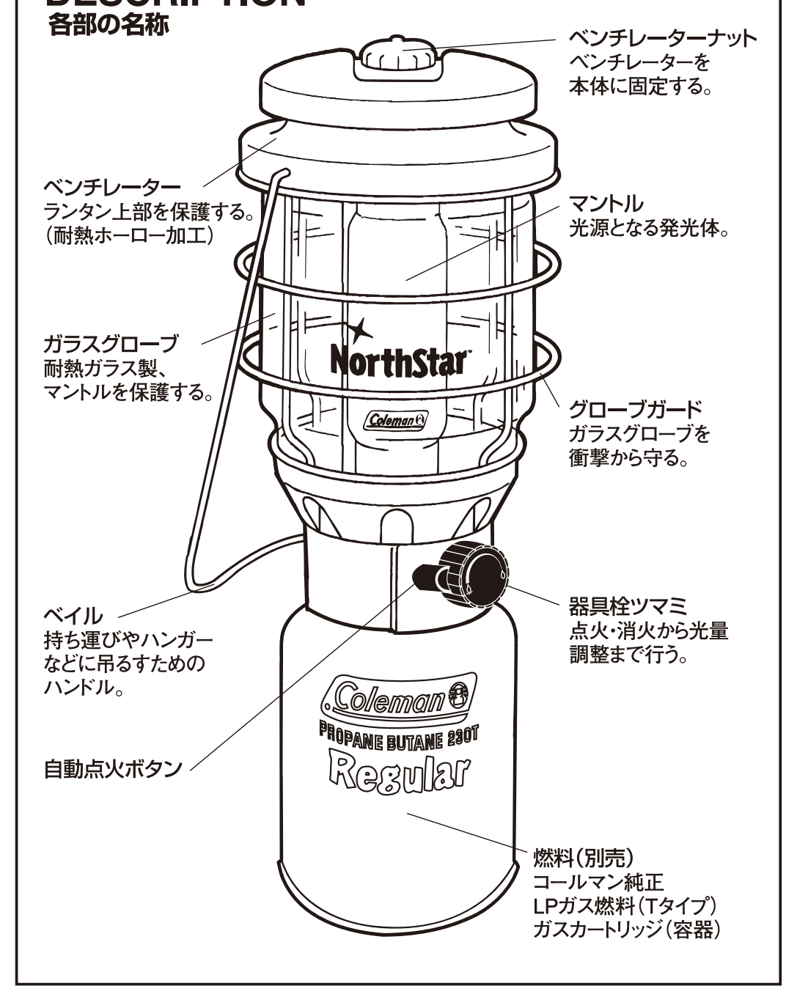
❗ 必ず行う

- ランタンハンガー等で吊るして使用するときはしっかり固定されていることを確認してください。落下しますと思わぬ事故の原因となります。風や振動に注意してください。

❗ 必ず行う

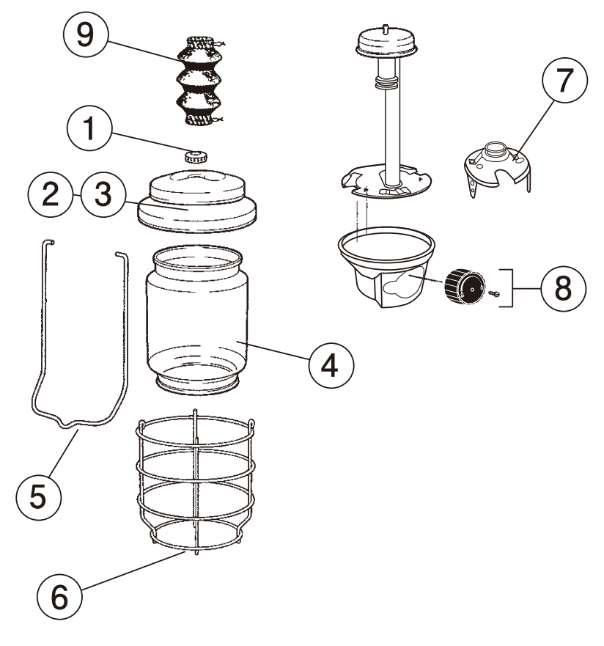
各部の名称

DESCRIPTION
各部の名称



パーツリスト

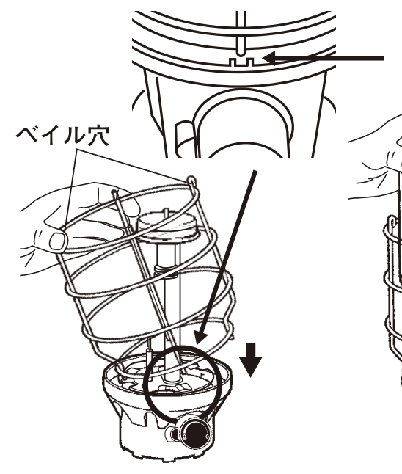
パーツNO.		英語名	パーツ名
①	2500-4411	Ventilator Nut	ベンチレーターナット
②	2000A4851	Ventilator (Green)	ベンチレーター(グリーン)
③	5010000630	Ventilator (Red)	ベンチレーター(レッド)
④	R000B043J	Globe	耐熱ガラスグローブ
⑤	2500-1381	Bail Handle	ベイル
⑥	2500-3151	Globe Guard	グローブガード
⑦	5010000576	Heat Shield	ヒートシールド(遮熱板)
⑧	5010000322	Knob Assy (Red)	器具栓ツマミ
⑨	95-102J	Mantle (#95)	マントル(95型)



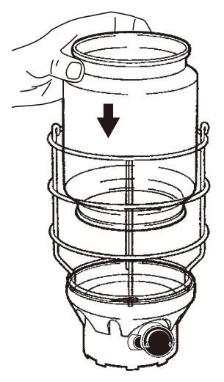
※表示のパーツリストは2009年1月1日現在のものです。

ランタンの組み立て

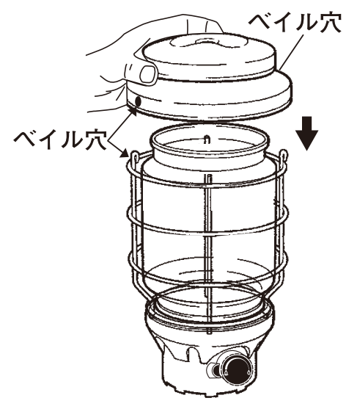
1.グローブガードをカラーにはめます。その際、ベイル穴が横にくるような向きではめてください。



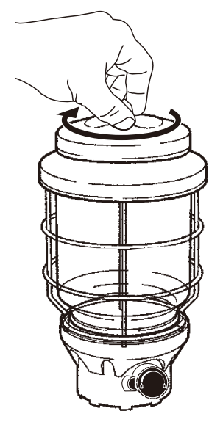
2.グローブガード内にグローブを図のようにさし込みます。



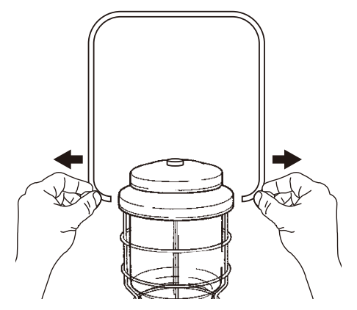
3.ベンチレーターを取り付けます。その際、ベンチレーターのベイル穴がグローブガードのベイル穴と重なるようにとり付けてください。



4.ベンチレーターナットを取り付けます。



5.ベイルを取り付けます。ベイルの両端を開いて図のようにベイル穴に差し込みます。ベイルが確実に入っていることを確認してください。

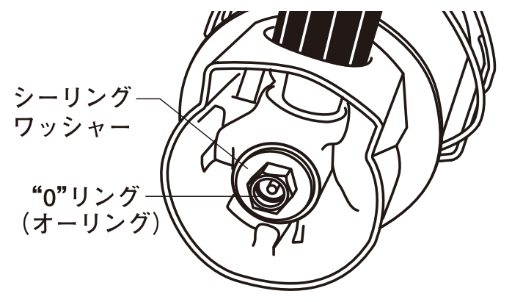


点火の準備

屋外の火の気のない所で行ってください。

❗ ガスカートリッジ(容器)はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。

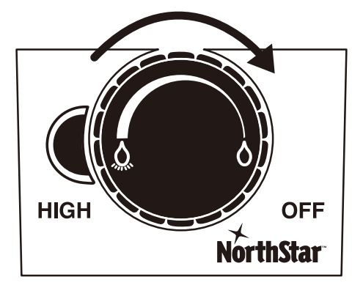
1.本体下部のカートリッジ接合部にある“0”リング及びシーリングワッシャーに損傷がないことを確認してください。



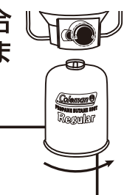
⚠ 注意

- “0”リングに異常がある場合は、お買い求めの販売店にて交換・修理を依頼してください。

2.器具栓ツマミを右(OFF)方向に止まるまで回し、閉じていることを確認してください。



3.カートリッジ(容器)を水平にして、接合部に対して垂直に取り付け完全に止まるまで確実にねじ込んでください。



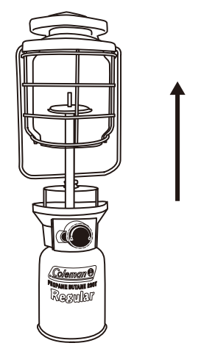
⚠ 注意

- ガスカートリッジ(容器)を取り付ける際は、無理矢理押し込んだり、斜めに押し込んだすると接合部を損傷する恐れがあります。
- ガスカートリッジ(容器)を斜めに傾けて取り付けると液状のガスが噴出して危険です。必ずカートリッジ(容器)を水平にして取り付けてください。
- ガスカートリッジ(容器)取り付け時、若干のスが漏れますので、必ず周囲に火気がないことを確認してください。
- ガスカートリッジ(容器)のふたは捨てずに保管してください。ガスを使い切らなかった場合、保管につかいます。

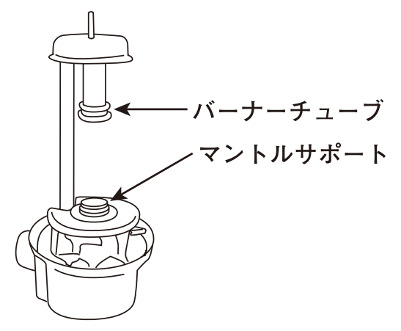
マントルの取付け

❗ **必ず、コールマン純正マントル(95型)をご使用ください。**

1.ベンチレーターナットを外してください。
2.ベンチレーター、グローブガード、グローブを真上に引き抜く様に外してください。



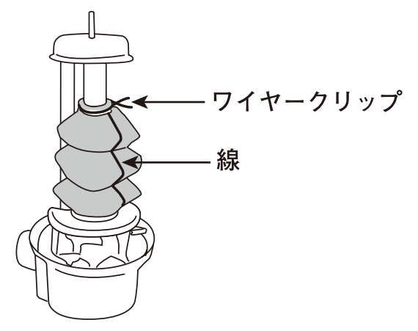
3.マントルの線が垂直になるようにして、上下のワイヤークリップ部分をバーナーチューブとマントルサポートの凹の部分に合わせてひねって固定してください。



4.ランタン本体は、付属のソフトケースに入れ保管してください。

⚠ 注意

- ワイヤークリップがイグニッション部に触れないようにしてください。

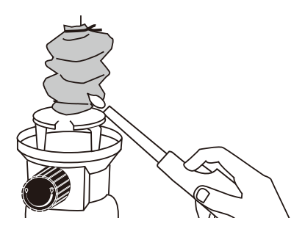


カラヤキ

❗ **取付けたマントルは、点火前に燃料を出さずに燃やし、灰状にしてください。**

❗ 器具栓ツマミが右(OFF)の方向に回らない状態にあることを確認してください。

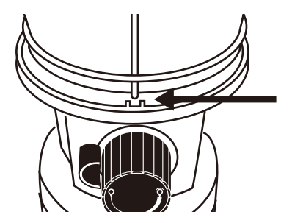
1.マントルを下部から均等に火をつけて、完全に灰状になるまで燃やしてください。



⚠ 注意

- マントルは消耗品です。常時予備のマントルをご用意ください。穴のあいたマントルをそのまま使用するとグローブの破損または異常過熱の原因となります。

2.ベンチレーター、グローブガード、グローブを元通りに戻して、ベンチレーターナットを閉めて固定してください。その際、ガードワイヤーが所定の位置にはまるようにセットしてください。



⚠ 注意

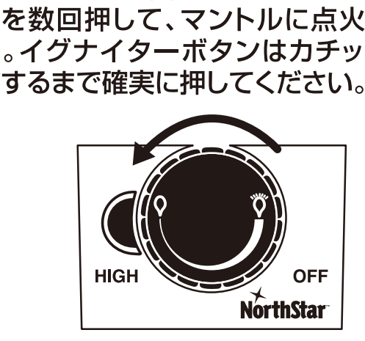
カラヤキ時の注意

- カラヤキしたマントルは、もろくなり強い衝撃や指先でも簡単に破損します。
- カラヤキの途中や、カラヤキせずに点火しますと、縮みが激しく、いびつな形状で小さくなってしまいます。必ず、完全にカラヤキしてから点火してください。
- 片寄ったカラヤキは、マントル破損の原因になります。下部から均等に火をつけてください。

点火・消火

❗ **必ず、屋外の火の気のない所で操作してください。**

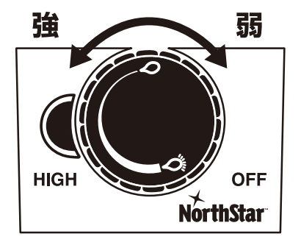
1.器具栓ツマミを左(HIGH)にゆっくりと回してガスを出し、イグナイターボタンを数回押して、マントルに点火します。イグナイターボタンはカチッと音がするまで確実に押してください。



⚠ 注意

- 数回点火ボタンを押しても点火しない場合は、数分おいてから再度行ってください。すぐ点火作業を行うと、グローブ内にガスが充満しており、危険です。

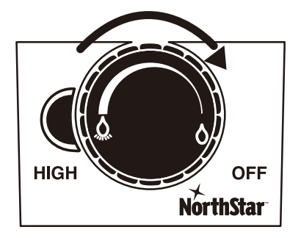
2.光量調節は、器具栓ツマミを左右に回して調整してください。



⚠ 注意

- 器具栓ツマミを急激に回すと炎が消えることがあります。
- 炎を小さくすると風などで消えることがあります。
- 使用中は、ときどき正常に燃焼しているか確認してください。

3.消火は、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に止まるまで回して確実に消火してください。



⚠ 注意

- 器具栓ツマミは完全に右(OFF)の方向に止まるまで回してください。炎が消えても完全にOFFになっていないとガス漏れします。

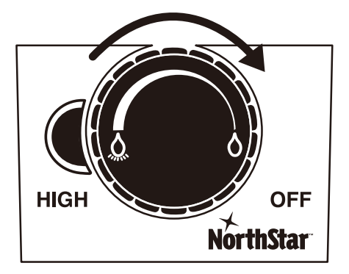
⚠ 注意

- ガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。このような時はマッチ、ライター等で点火してください。
- 点火していないのに、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に回らなくなるまで回していないと、ガス漏れを起こし危険です。必ず点火を確認してください。
- 炎は上に上がるので、点火操作をするときは、器具の上にかがみこまないでください。
- 点火装置は、本体を水平な場所に置いて行ってください。
- 本体を傾けて点火しないでください。
- 冷えたガスカートリッジ(容器)は使用しないでください。

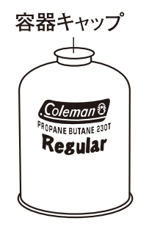
収納・保管

❗ **必ず、ランタン本体が完全に冷えてから作業を行ってください。**

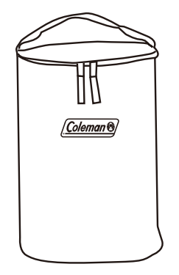
1.器具栓ツマミが右(OFF)の方向に回らない状態にあることを確認してください。



2.ガスカートリッジ(容器)を垂直に左に回して取り外してください。ガスカートリッジ(容器)は側面に書いてある注意を参考に、風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをして保管してください。容器キャップはガスカートリッジ(容器)を使い切らなかった場合、必要となりますので必ず保管してください。



3.ランタン本体は、付属のソフトケースに入れ保管してください。



日常の点検・お手入れの方法

- **ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。**
- **点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して、ランタンが充分冷えてから行ってください。**
- **故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店までご連絡ください。**

点検とお手入れのポイント

本　体	自動点火装置およびその周辺	ガラスグローブ
●台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をしみこませた布で汚れを十分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属性のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。	●電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。(このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。)	●ガラス用クリーナーを使って汚れをふきとった後、乾いた布でもう一度ふいてください。 ※ガラスグローブは割れやすいので取扱いには十分注意してください。

長時間使用しないとき

1.ガスカートリッジ(容器)をランタンから必ず取りはずし、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に止まるまで回してください。
2.ベンチレーター、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
3.ランタンの各部が充分冷えてから、本体をソフトケースに収納し、湿気の少ない所に保管してください。
4.グローブはガラス製です。取り扱いには十分ご注意ください。
5.ガスカートリッジ(容器)は、容器キャップをつけ、風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
※長期間、ガスカートリッジ(容器)を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガス漏れの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ(容器)は古いものから使用し、早めに使いきってください。
6.ランタンは立てて保管してください。移動する場合も立ててください。
7.幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

故障・異常の見分け方と処理の方法

- **LPガスの性質上気温が低い場合やガスカートリッジ(容器)が冷えた場合には、炎が小さくなることがありますが、器具の異常ではありません。**
- **連続使用(1時間以上)した場合、炎が小さくなることがありますが、異常ではありません。**

原因 現象	専用カートリッジ(容器)を使用していない。	専用カートリッジ(容器)内の残ガスが少ない。	バーナー炎口部目づまり汚れ。	ノズル部目づまり。	点火電極間距離不適切。	点火電極の酸化。	点火操作不適切。	器具栓の故障。
カートリッジ(容器)が取り付けられない。	○							
点火しない(しにくい)。		○	○	○	○	○	○	
点火火花が飛ばない。					○	○	○	
炎が安定しない。		○	○	○				○
火力が弱い。		○	○	○				○
消火しない。								○
処置方法	コールマン専用Tタイプ容器を使用する。	新しいものと交換する。	目づまりをとる。点検修理を依頼する。	点検修理を依頼する。	電極間距離を3㎜〜4㎜に調整する。	電極を紙ヤスリ等で磨く。	取扱説明書を読んでから再度行う。	点検修理を依頼する。

※以上、の事項をご確認の上、それでも不具合な場合、あるいはご不明の場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス

- お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。

コールマン ジャパン株式会社
〒108-0023
東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
お問い合わせ先0120-111-957

仕 様

品名	ガスランタン
型式	2000015520 / 2000015521
外形寸法	約φ14.5×26.0(H)cm
重量	約1.31kg(本体のみ)
使用容器	コールマンTタイプ専用容器
点火方式	圧電点火方式
ガス消費量	約120g/h(レギュラーガス・最大出力時)
燃焼時間	約4〜8時間(470g缶使用時)

発売元：コールマン ジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル お問い合わせ先0120-111-957
商品のお問合わせについては、上記へご連絡ください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
2.保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
　(イ) 本書のご提示がない場合。
　(ロ) 本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
　(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
　(ニ) お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
　(ホ) 火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変等、外部に要因がある故障、損傷。
　(ヘ) 指定外の燃料使用による故障、損傷。
　(ト) マントル等の消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
3.保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。
4.本書は、日本国内においてのみ有効です。

コールマン製品保証書

2000015520
2000015521

お客様	ご芳名	様　TEL.
	ご住所	
取扱販売店	店名・住所・電話番号	
保証期間	お買い上げ日	年　　月　　日より 1年間

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。
お買い上げ年月日、販売店等記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を下に添付して保管ください。
ご転居、ご贈答等でお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

お買上げ時レシート添付場所(お買上げ年月日、販売店の証明がないと保証を受けられない場合がありますのでご注意ください。)

ⓒ 2013 The Coleman Company,Inc.All rights reserved.U.S. Patents: 1,031,076, 2,724,301
Coleman®, , and Northstar® are registered trademarks and The Outdoor Company™ is a trademark of The Coleman Company,Inc.
The Coleman Company,Inc.,a Jarden Corporation Company (NYSE:JAH)

4010003735